

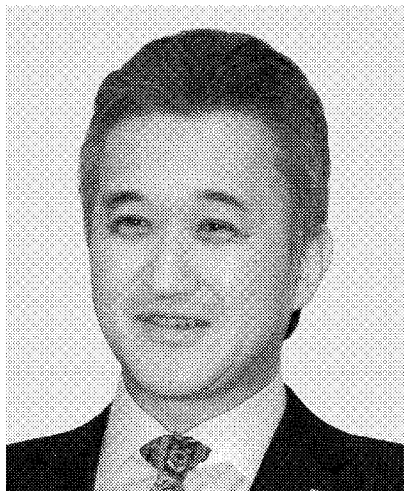
中部の工作機械メーカー

米の生産を30%増へ

中国はサービス拡充し対応

―2011年の日本の工作機械市場をどう見えていますか。

「日本の工作機械需要の先行きはややネガティブな印象だ。エコカー補助金を政府による補助制度が終了したこともあり、顧客は合理的に新規設備投資に慎重になっている。ただ自動車メーカーの新型車の投入や、米ボーイングの次世代中型旅客機「787」など航空機の部品加工需要といった良い材料もある。何も手を打たないと事業は縮小するだけ。中・長期の先行きは。」



ヤマザキマザック

社長 山崎智久氏

「主要市場の一つである米国はドル安により輸出産業が後押しされている。また減税措置の延長による効果もあって、11年も好調に推移するだろう。業種では建設機械や石油などのエネルギー産業向けが引き続き伸びる。一方、もう一つの主要市場の欧州は国別に異なる模様だ。欧州で最大需要国のドイツは自動車

関連など輸出産業が好調で、今の調子で販売は増えそう。しかしイタリアなどでは需要回復は遅れそうだ。」

「しばらくは今のような高水準の設備投資が続くだろう。金利上昇や人件費の高騰などのリスク要因もあるが、まだ大きな影響が出るほどではない。中国では経済発展が進んでいる沿岸部を中心に人件費が高騰している。このため自動化や無人化のシステム導入に対する意欲が強まっている。この傾向は今後も続く」と見ている。中国のほかの新興国では需要が堅調なブラジルやロシアなど

工作機械の生産台数を現状の3割増の月間120台に増やす。将来は同150台にまで増やす方針だ。米国では韓国や台湾のメーカーが在庫を大量に持つて即納体制を整え、低価格と短納期で攻めを強化し、納期を短くして迎撃する。」

「11年の受注増加率を最も高く設定している中国ではどうですか。」

「中国には営業の核となる拠点の『テクノロジセンタ(TC)』を10年に大連市と広州市に新設し、三つにした。この三つを活用する。また上海市のTCのアップグレードと部品品の在庫量を11年半ばまでに金額換算で現在の2倍の6億円に増やし、トラブル発生時の対応を速くする。TCの増加とサービスパットの充実により、現地でピフォアサービスからアフターサービスまで含め充実したサービスを顧客に提供する」

20%近い伸びを期待

新興国で中・大型機の需要増

―2010年は工作機械市況が回復しましたが、11年の見通しはいかがですか。

「まずまずではないが、今の上昇基調は続くだろう。08年のリーマン・ショック後の金融危機の影響で世界全体で工作機械需要の頭を押さえつけられたが、中国など新興国での潜在需要はなくなっただけではない。工業製品を生産するためには、工作機械は欠かせない。すでに工業製品が十分に伸びないだろうが、新興



オークマ

社長 花木義麿氏

「まずまずではないが、今の上昇基調は続くだろう。08年のリーマン・ショック後の金融危機の影響で世界全体で工作機械需要の頭を押さえつけられたが、中国など新興国での潜在需要はなくなっただけではない。工業製品を生産するためには、工作機械は欠かせない。すでに工業製品が十分に伸びないだろうが、新興

「11年は前年比15〜20%近い伸びを期待できる。先進国の需要動向はどうか。」

「米国は産業の機が深い。建設機械やオイル・ガスなどのエネルギー関連などは元来だ。これらの業種は中・大型機需要なので当社の強みを発揮できる。また欧州は旧高・ユーロ安で価格競争が激しいため、当社の低価格機『ジェノスシリーズ』を積極的に売り込める。」

オークマ

社長 花木義麿氏

「まずまずではないが、今の上昇基調は続くだろう。08年のリーマン・ショック後の金融危機の影響で世界全体で工作機械需要の頭を押さえつけられたが、中国など新興国での潜在需要はなくなっただけではない。工業製品を生産するためには、工作機械は欠かせない。すでに工業製品が十分に伸びないだろうが、新興

と当社が得意とする中・大型機はそれほどでもない。しかし中国など新興国では、中・大型機が必要インフラ関連の需要が10年春あたりから出始めている。インフラ関連は需要が出始めると息が長い。当社は業界平均より少し多い20%近い伸びが期待できる。」

「ジェノスは機能を抑えたが、加工能力などの基本性能は高いまま維持した。価格競争が激しくなっても、検討してもらえれば。」

「ジェノス強化のために台湾の生産強化を進めていますね。」

「ジェノスは部品の8割を台湾で生産して日本に送っている。この部品の生産を強化するために現工場と同じ台北県内に新工場を12年春をめどに移転する計画だ。新工場では現工場同様に小型の旋盤と立型マシニングセンター(MC)も部品と一緒に生産する。現工場と合わせて新工場稼働時に製品換算して生産能力を現状の7割増の月産200台にする。為替対応のことも考え、台湾は

今後重要な生産拠点とする。」

「国内では生産効率強化に取り組んできました。取り組みの状況はいかがですか。」

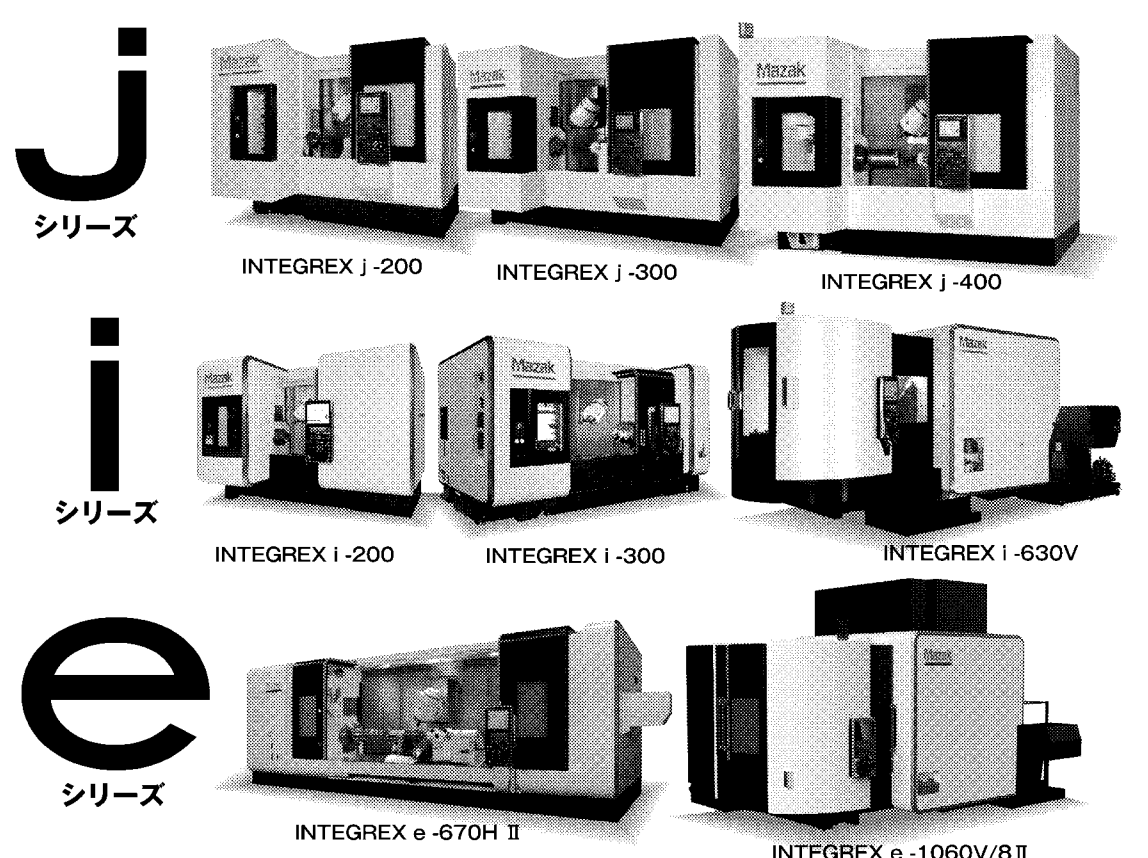
「まだまだ。単位時間あたりの工数を09年時に比べ50%は上げたかったが、まだ30%しか上がっていない。設備は十分にあるが、効率化のために導入したソフトウェアをまだ使いこなせていない。きっちり使いこなせるようにして、早期に50%を達成する。」

「成長が見込める新興国ではどう攻めますか。」

「新興国には高い技術レベルを持つていたりメンテナンス用のパーツを保有できたりする力のある代理店がまだ少ない。このため当社でパーツを保有し、アフターサービスをできる体制を整える必要がある。現在は中国、インド、東南アジア諸国連合(ASEAN)でサービスを重視した拠点網作りを進めている。これが販売増につながる」

あらゆる複合加工のニーズにお応えします。

INTEGREX J,i,e,シリーズ完成



複合加工機の圧倒的なラインアップ

INTELLIGENT MACHINE™

ergonomics

eco-friendly

先進のインテリジェント機能によりオペレータをサポート。

人間工学に基づいたデザインを採用し、快適な操作性を実現。

環境に配慮した省エネ設計。

マザックでは高速・高精度、高生産性を実現するマシンベックはもちろん、人間にとつての使いやすさを追求した総合的なデザイン開発を展開しています。洗練されたマシンデザインとオペレータの完成に成えるエルゴノミクスデザイン(人間工学)に基づいた最適設計により、優れた操作性と作業率向上を実現しました。

Mazak
Your Partner for Innovation

www.jtekt.co.jp

JTEKT



JTEKT e シリーズ誕生

「この時代に最適な製品」をテーマに開発した、高い生産性とコストパフォーマンスに優れた、シンプル・スリム・コンパクトを実現したeシリーズが誕生しました。機能を増やすことなく、限定した機能でも、より効率的な加工を高精度に行い、省スペース・かんたんな操作性を実現することで、より多くのお客様に使用して頂くことができるシリーズです。

